

2021 年度

# 事業報告書

2022 年 5 月 26 日

公益財団法人NHK交響楽団



— 目 次 —

はじめに	1
1 演奏活動	2
(1) 概要	2
(2) 定期公演に代わる公演	3
(3) 定期公演	3
(4) 特別公演	6
(5) 全国各地での公演	7
(6) 契約公演	8
2 放送への出演	8
(1) 定期公演、特別公演の放送	8
(2) 録音、出演	9
(3) 国際放送による演奏発信	9
(4) 放送記念日式典での演奏	9
3 広報・プロモーション	10
(1) 公演動画の配信	10
(2) SNSを主体にした広報	10
(3) QRアンケート等による広範な調査	10
(4) N響創立100年に向けたプロジェクト	11
4 社会貢献活動	11
(1) NHKこども音楽クラブ	11
(2) N響といっしょ！音を楽しむ！！	11
(3) 被災地や高齢者施設での活動	12
(4) 公共団体と連携した室内楽演奏、音楽セミナー	12
(5) N響アカデミー	12
5 特別支援・賛助会員・寄付	13
6 財政基盤とガバナンスの強化	13
(1) 感染拡大の中での財政運営	13
(2) 財団統合に向けた取り組み	13
(3) 事務局体制の強化	14
7 安心して働ける職場づくり	14
(1) 新型コロナウイルス感染拡大の防止	14
(2) テレワーク環境整備と情報セキュリティ	15
(3) 定年年齢の引き上げ	15
8 顕彰の実施	15
(1) 尾高賞	15
(2) 有馬賞	15
9 法人の概況	16
10 処務の概況	18
11 理事および監事に支払った報酬の額	20
(参考資料)	21

## はじめに

NHK交響楽団にとって 2021 年度は、新型コロナウイルス感染防止策の中での公演活動の継続という厳しい業務運営の一年となった。実証実験を踏まえたソーシャルディスタンスの確保や、楽員の PCR 検査、招へい指揮者の国内待機など数多の課題を乗り越え、年間 100 回の公演を行った。9 月再開した定期公演では首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィ、桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテット、次期首席指揮者ファビオ・ルイージといった世界の巨匠たちが久々に指揮をとり、お客様の心に残る演奏会をお届けすることができた。

北京オリンピック・パラリンピックでNHKウインタースポーツのテーマソングや大河ドラマオープニング曲を演奏するなどNHKの放送事業にも積極的に貢献した。

デジタル配信でも新しい境地を切り拓き、N響名曲コンサートを東京工科大学メディア学部の学生が収録・編集した番組を YouTube 上に公開した。アクセス数は 50 万回（2022 年 3 月末時点）に達し、うち 20%が海外からの利用で国際的な存在感の向上に繋がった。

社会貢献活動では、全国の小中学校を回る「N響こども音楽クラブ」などのアウトリーチ活動に加え、保育園児を練習場に招いて行う「N響といっしょ！音を楽しむ！！」を新たに開催し、次世代に音楽文化を伝承する取り組みを進めた。

2022 年 1 月、N響はNHKグループの 4 財団が合併して誕生する新財団と 2023 年 4 月に経営統合することで基本合意した。今後は効率的な運営を図りつつ、新財団と連携を深め社会貢献活動の強化を図っていく。

2022 年度は、9 月にNHKホールで定期公演を再開するのをきっかけに、若い世代に気軽にクラシックを聴いていただけるようユースチケットの割引幅を広げるなど、ファン層の拡大に向けた施策も強化する。2026 年の創立 100 年に向け、日本最高水準の演奏をお届けしつつ、ファンの皆様との絆を大切により親しまれるオーケストラを目指して、N響はさらに進化を続けていく。

# 1. 演奏活動

## (1) 概要

新型コロナウイルスの感染拡大は、2021年度も演奏活動に深刻な影響を与えた。2020-2021シーズンを締めくくる4月から6月の公演は、「定期公演に代わる公演」という形で演奏を継続したが、緊急事態宣言が長期化する中で、海外から招へいする音楽家の限定や14日間の国内待機など厳しい制限が続いた。

9月には、1年7か月ぶりに定期公演を再開した。外国からの出演者の国内待機は、条件付きで3日間に短縮されたものの共演する楽員やスタッフの3日おきのPCR検査などが新たに義務付けられ、活動は困難を極めた。

12月にはオミクロン株の世界的な拡大によって渡航制限が再び強化された。恒例の第九公演は急遽、国内出演者への変更を余儀なくされた。1月以降は、公演ごとに出演者やスタッフの一斉PCR検査を行い、オミクロン株への対策を強化した。

このように感染拡大が収まる気配のない中で、出演者やプログラムの相次ぐ変更、代役の調整、それに伴う公演の周知、販売期間の短縮など厳しい条件が重なり、公演運営全体に支障をきたした。

一方、厳しい制約のもとでも、国際コンクールに入賞した話題の日本人ソリストとの共演などプログラムに趣向を凝らし、多くの方に楽しんでいただいた。1月のショパン・コンクール入賞者との共演はチケットが発売間もなく完売した。

また、安全に公演を継続するため業界団体の指針や専門家のアドバイスを踏まえながらN響独自のガイドラインを随時更新し、舞台上や客席の感染対策を徹底した。

2021年度に実施したすべての公演は100回(前年度66)で中止は13回だった。

当団にとっては、コロナ禍に加え、NHKホール休館に伴う会場の変更が前年度から続く二重の試練となっており、遠のいてしまったお客様に再び足を運んでもらうための公演改革も行った。

このうち定期公演は、長く据え置いてきた料金や時間を見直し、ABCの各プログラムの特性を明確にした。とりわけ池袋Cプログラム(東京芸術劇場)は休憩なしで1時間強のコンパクトかつ比較的廉価で親しみやすいプログラムに刷新した。開演前の室内楽も新たに加えるなどサービスを充実させた。また、お客様の利便性を高める電子チケットを一部の特別公演で試行した。With Coronaの公演スタイルを定着させ、2022年度の新しいシーズンに道筋をつけた。

## (2) 定期公演に代わる公演

4月から6月まで、定期公演と同じ回数（9プログラム18公演）を実施した。

(2021年)

### 【4月】

入国制限が続く中、邦人アーティストにより「春」にちなんだ3種類のプログラムをお送りした。まず、初登場となる三ツ橋敬子の指揮、日本を代表する歌手2人によるオペラの名シーン。続いて鈴木雅明の指揮でシューマン《交響曲第1番「春」》。モーツァルト《オーボエ協奏曲》のソリストには、名手・吉井瑞穂を迎えた。さらに22年ぶりの共演となる大植英次の指揮、期待の若手・阪田知樹のソロで、ショスタコーヴィチ《ピアノ協奏曲第1番》、シベリウス《交響曲第2番》を演奏した。

### 【5月】

海外から音楽家を招聘できない状況下、N響メンバーがソリストとして活躍できる曲を特集した。首席奏者・辻本玲によるハイドン《チェロ協奏曲第1番》、管楽器セクションによるモーツァルト《管楽器のための協奏交響曲》、トランペット4人がソロを務めるパヌフニク《神聖な交響曲》、ハープ・早川りさこによるドビュッシー《神聖な舞曲と世俗的な舞曲》、12種類のソロ楽器が名人芸を繰り広げるヒナステラ《協奏的変奏曲》など。いずれも当団楽員の高い演奏能力を世に示した。

### 【6月】

「コロナ禍だからこそ、聴いてほしい音楽」を月間のテーマとした。最初に井上道義の指揮で、シベリウス《交響曲第7番》とベートーヴェン《交響曲第3番「英雄」》。次いで下野竜也が得意とするブルックナー《交響曲第0番》ほか。最終週には来日後の2週間待機を経て、首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィが1年4か月ぶりに登場。客席数の上限はあったものの、ニルセン《交響曲第4番「不滅」》など得意の北欧プログラムを披露して、聴衆の万雷の拍手を受けた。

## (3) 定期公演

9月から2022年2月まで、17プログラム34公演を実施した。

## 【9月】

1年7か月ぶりに定期公演を再開。Cはパーヴォ・ヤルヴィの指揮で《管弦楽のための協奏曲》などバルトークの2作品。録音プロジェクトも計画通り消化した。Aは定期初登場となる沼尻竜典の指揮で、マーラー《交響曲第1番「巨人」》。モーツァルト《クラリネット協奏曲》のソリスト代役を首席奏者・伊藤圭が務めた。Bは渡航制限で来日できなかったトン・コープマンに代わり、古楽界の名匠・鈴木秀美を初招へい。バッハからハイドンまで、3世代にわたる作曲家の系譜をたどった。

## 【10月】

桂冠名誉指揮者ブロムシュテットが、渡航制限下の条件をクリアして2年ぶりに登場、来日を待ち望んだファンの圧倒的な支持を得た。Aは世界屈指の名人カヴァコスのソロによるブラームス《ヴァイオリン協奏曲》と、ニルセン《交響曲第5番》。リニューアルしたCは、グリーク《「ペール・ギュント」組曲第1番》、ドヴォルザーク《交響曲第8番》といった名曲。Bではマエストロの祖国スウェーデンの作曲家ステンハンマルと、ベートーヴェン《交響曲第5番「運命」》を組み合わせた。

## 【11月】

Aはファビオ・ルイージの来日がかなわず、予定していたフランツ・シュミット《交響曲第2番》を急遽、沼尻竜典が指揮。難曲を見事にまとめ上げた。アレックスサンドロ・タヴェルナは無事来日し、リスト《ピアノ協奏曲第2番》のソロを務めた。翌週から共演可能となったルイージは、Cで得意のブルックナー《交響曲第4番》を、Bでチャイコフスキー《交響曲第5番》などを指揮。ルイージ肝いりのソリスト、フランチェスカ・デゴが、パガニーニ《ヴァイオリン協奏曲第1番》を熱演した。

## 【12月】

再びの渡航制限強化で、プログラムを大幅に組み換えた。A・Cの代役は、直前に入国できたイタリア人指揮者、ガエタノ・デスピノーサ。Aではリーズ国際コンクール第2位の小林海都が、本選で弾いたバルトーク《ピアノ協奏曲第3番》を披露。同じく新進の若手・佐藤晴真は、Cでチャイコフスキー《ロココの主題による

変奏曲》を演奏した。Bでは今注目の山田和樹が、マーラー《花の章》、佐々木典子の歌唱によるR.シュトラウス《4つの最後の歌》といったドイツ・レパートリーを取り上げた。

(2022年)

### 【1月】

Aは躍進中の指揮者・原田慶太楼と、ショパン・コンクール第2位入賞に輝いた“時の人”反田恭平を迎え、パデレフスキ《ポーランド幻想曲》、ストラヴィンスキー《バレエ音楽「火の鳥」(1910年版)》ほか。チケットは2日間とも完売を記録した。Cの代役は、渡航制限前に来日していたジョン・アクセルロッド。ブラームス《交響曲第3番》と、服部百音のソロによるブルッフ《ヴァイオリン協奏曲第1番》を演奏した。Bは新型コロナの感染急拡大を受け、安全を期すためにやむなく公演中止とした。

### 【2月】

首席指揮者として最後の共演機会だったパーヴォ・ヤルヴィは結局来日を果たせず、邦人のベテラン指揮者3人が代役を務めた。下野竜也はショパン・コンクール第4位の小林愛実をソロに迎えて《交響曲第2番》など、オール・シューマン・プログラム。鈴木雅明はストラヴィンスキー《バレエ音楽「ペトルーシカ」》ほかを取り上げた。正指揮者・尾高忠明はエルガー《変奏曲「謎」》など、得意のイギリス作品を指揮。ヒラリー・ハーンの代役、金川真弓がバーバー《ヴァイオリン協奏曲》を好演した。

## ■定期公演入場者と定期会員（席）数■

2021年度の定期公演および「定期公演に代わる公演」（以下「定期代替公演」）の合計の入場者数は58,806人だった。これは当初の計画の6割ほどの定期代替公演しかできなかった前年度に比べると35,796人の増加、約2.5倍となっている。しかし、客席の入場制限や海外出演者の入国制限が続いたことに加え、大規模な会場のNHKホールが改修工事で使用できなかったことなどが影響し、コロナ前の水準には到っていない。

定期会員（席）数についても、2022年3月31日現在、6,412人で、前シーズン（2020-21シーズン）の定期会員の休止を決めた2020年6月時点の8,156人を大きく下回っている。これは、A、Cが東京芸術劇場に移ったことのほか、年間会



員券やシーズン会員券の販売が緊急事態宣言の期間と重なり、入場制限によって販売を途中で停止したプログラムがあったことなどが大きく影響している。

#### (4) 特別公演

定期公演以外に、当団主催で以下の公演を行った。

##### ① Music Tomorrow 2021

優れた現代音楽作品を取り上げる公演を2年ぶりに実施。外国人が入国できないため、ミラノ在住で現代音楽に定評のある指揮者・杉山洋一と、ピアノの吉川隆弘を代役に迎えた。N響が委嘱した新作、西村朗《華開世界》、2019年の尾高賞受賞作である細川俊夫《オーケストラのための「渦」》を演奏。また予定していた共同委嘱作品の日本初演に代わり、半世紀前の尾高賞受賞作である間宮芳生《ピアノ協奏曲第2番》を蘇演して話題を集めた。演奏会の冒頭では第68回尾高賞の授賞式を行った。

(6/22 東京オペラシティコンサートホール)

##### ② 松山定期演奏会

愛媛県内の多くの企業に協賛を頂いている毎年恒例のコンサート。今回はブザンソン国際指揮者コンクールに優勝し、期待を集める沖澤のどかの指揮でブラームス《交響曲第2番》、ソリストに宮田大を迎えてドヴォルザーク《チェロ協奏曲》を演奏。

(7/25 愛媛県県民文化会館)

##### ③ N響ほっとコンサート

夏休み期間中に行う青少年・ファミリー向けのコンサート。オリンピック・イヤーにちなんで「オーケストラ・世界音楽選手権」をテーマとし、速い曲・遅い曲、大きな楽器・小さな楽器のように様々な対比を楽しんだ。第1コンサートマスターの篠崎史紀、ピッコロの梶川真歩、チューバの池田幸弘といったN響メンバーがソリストとして登場。指揮の原田慶太楼とナビゲーターの篠原ともえが会場を盛り上げた。

(8/1 東京芸術劇場)

##### ④ N響名曲コンサート

首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィが送る名曲プログラム。メインはサン・サーンス《交響曲第3番「オルガンつき」》。チャイコフスキー《ヴァイオリン協奏曲》のソリストを務めた服部百音は、パーヴォが高く評価する若手。初めての試みと

して、N響独自の配信用収録を行い、驚異的な再生回数を記録した。

(9/6 サントリーホール)

#### ⑤ 「第九」演奏会

年末恒例の公演。当初は次期首席指揮者ルイージと外国人歌手を招聘し、待機ルールに則って、公演数を減らした上で実施予定だったが、直前の入国停止措置で海外からの招へい自体が不可能になった。急遽、正指揮者・尾高忠明のほか、森麻季ほか日本人歌手の代役を充てて乗り切った。合唱はメンバーの間隔を広めにとって、通常より少ない総勢 60 人。PCR 検査の実施、アクリル板の設置など、最善の感染防止策を施して 4 公演を行った。

(12/22 オーチャードホール、12/25, 26 東京芸術劇場、12/27 サントリーホール)

※N響『新春』(1/31 東京オペラシティコンサートホール) は感染拡大の影響で中止した。

### (5) 全国各地での公演

NHK各放送局との共催により、全国 7 都市で公演を行った。

8 月に、尾高忠明指揮により、東北地方の 2 都市（山形・石巻）でブラームス《交響曲第 1 番》ほか、広上淳一指揮により、中国地方の 4 都市（鳥取・岡山・広島・山口）で、チャイコフスキー《交響曲第 4 番》などを演奏した。東北ツアーには金川真弓、中国ツアーには藤田真央と、いずれも国内外で活躍する若手有望ソリストを起用した。

(8/19 やまぎん県民ホール)

(8/20 マルホンまきあーとテラス<石巻市複合文化施設>)

(8/28 とりぎん文化会館<鳥取県民文化会館>)

(8/29 岡山シンフォニーホール)

(8/30 上野学園ホール<広島県立文化芸術ホール>)

(8/31 山口市民会館)

11 月にはファビオ・ルイージの指揮により、NHK大阪ホールでチャイコフスキー《交響曲第 5 番》など、11 月 B 定期と同じプログラムを演奏した。

(11/27 NHK大阪ホール)

NHKの音楽イベントである「NHK音楽祭」では、ショパン・コンクール優勝直後のブルース・リウが、本選の課題曲であるショパン《ピアノ協奏曲第1番》を日本の聴衆にいち早く披露。チケットは早々に売り切れた。ほどなく定期公演に出演した反田恭平、小林愛実を含め、ショパン・コンクールの入賞者3人が相次いでN響と共演を果たした。プログラム後半は尾高忠明指揮でショスタコーヴィチ《交響曲第5番》。

(11/8 オーチャードホール)

※盛岡公演(8/21)、むつ公演(8/22 青森県)は、感染拡大の影響で中止した。

## (6) 契約公演

2021年度に実施した契約公演は27公演

### <都内>

オーチャード定期(7月、10月、2021年1月、3月、計4回)、練馬公演、かつしか公演、NTT東日本公演(東京オペラシティ)、国際音楽祭NIPPON 2022(東京オペラシティ)、都民芸術フェスティバル(東京芸術劇場)

### <関東の都市>

厚木(6月、11月)、千葉、足利、さいたま、所沢、越谷

### <全国各地の都市>

伊那(長野県)、豊田、安城(愛知県)、沼津(静岡県)、福井、大阪、名古屋、長岡(新潟県)、静岡、姫路(兵庫県)、岩国(山口県)

※東京・春・音楽祭(4/2,4)、オーチャード定期(4/29)、ゴールデンクラシックス(5/3)、福山公演(7/13)、津公演(10/3)、郡山公演(11/3)は、感染拡大などの影響で主催者の判断で中止となった。

## 2. 放送への出演

### (1) 定期公演、特別公演の放送

各2日間行われた定期公演(4月～6月は定期代替公演)の1日目は、FMで生

放送され、テレビでは録画されて後日Eテレ「クラシック音楽館」やBSプレミアムで放送された。

夏恒例の「N響ほっとコンサート」はEテレ「クラシック音楽館」(8/22)で放送された他、年末の「第九」演奏会はBS8KとFMで生放送(12/26)、Eテレで後日放送された。また、「第九」演奏会ライブ・ビューイングがNHKの8K上映イベントとして行われた。(12/26 都内)

## (2) 録音、出演

オリンピック・イヤーとなった2021年は、大会を盛り上げるメモリアルな演奏に取り組んだ。東京オリンピックでは、閉会式(8/8 中継放送)で使われた「オリンピック賛歌」を録音(5/6)。北京オリンピック・パラリンピックでは、番組で使用されるNHKのウィンタースポーツのテーマソング「Fly High」を録音(11/4)。シンガーソングライターのmiletさんとの共演の様もスタジオ収録され、2月から3月の大会期間中、連日放送された。

9月、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」テーマ曲の録音を行った。

NHKがSDGsキャンペーンのひとつとしてBS8Kで公開生放送した「地球のミライ・コンサート」(11/21)に室内楽のメンバーが出演し、映像と音楽の調和を通じてメッセージを届けた。

## (3) 国際放送による演奏発信

海外向けの国際放送「NHKワールドJAPAN」による当団の演奏の特集番組「Masterpieces performed by NHK Symphony Orchestra」は、3年目を迎え、引き続き制作に協力した。7月と年末年始の2回にわたり、近年の当団の名演、計6番組が放送された。2021年度は、新たにファミリー向けの「N響ほっとコンサート」がクリスマス・イブに放送された他、各番組のNHKオンデマンドへの掲載期間もこれまでの2週間から3か月に大幅に延長され、インターネットを通じて全世界に配信された。

## (4) 放送記念日式典での演奏

放送記念日式典(3/18)は、LINE CUBE SHIBUYA(渋谷公会堂)で開催され、従来のオーケストラ演奏ではなく室内楽による演奏を行った。

### 3. 広報・プロモーション

#### (1) 公演動画の配信

2020年に立ち上げた「N響公式YouTubeチャンネル」は、これまで首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィをはじめ出演アーティストたちや楽員たちのインタビュー動画を配信してきたが、2021年9月から「明電舎 presents N響名曲コンサート2021」（9月6日サントリーホール収録）を公開（1年間限定）。YouTubeでコンサート映像をノーカットで配信する初めての試みとなった。東京工科大学とも連携し、メディアを専門に学ぶ学生ならではの発想を生かしたプロモーション動画も制作し話題を集めた。この公演動画の視聴回数は、2022年3月31日現在、50万回に達した。このうちおよそ20%は海外（台湾7%）からの視聴で、国の内外で大きな反響を呼んだ。

※2022年1月に収録、配信を予定していた特別公演はコロナの影響で中止となった。

#### (2) SNSを主体にした広報

YouTubeに加え、公式アカウントで運用しているSNS（Twitter、Facebook、Instagram）もフルに活用し、公演情報を伝えた。来場できなかった方々にもライブ感を味わってもらうため、公演の舞台裏や出演者の横顔などをタイムリーに発信した。Twitterのフォロワー数はおよそ5万で、国内のクラシック音楽の団体では最多となっている。

また、2021-22シーズンのPRに向けて、8月から新たなオウンドメディアを開設。既存のプラットフォーム“note”を活用し、これまでクラシック音楽に縁遠かった人たちも視野に入れ、リニューアルした池袋Cプログラムなどを周知するキャンペーンを展開した。

一方、従来のEメールによるニュースレター（週1～2回、5万通発行）や紙による広報誌などについては、HPなどと連携しながら引き続き製作し、SNSなどでは行き届かない幅広い層への周知に努めた。DMでの周知については、旧会員だけでなく、かつて同種の公演に来場したお客様にも対象を広げ、販売促進を図った。

#### (3) QRアンケート等による広範な調査

公演のプログラムや運営の手がかりとするため9月から各種発行物にQRコードを記し、WEBによる広範なアンケートを行った。また、会員向けの葉書アン

ケートも行い、多様なマーケットリサーチを実施することでお客様のニーズを把握し、満足度の向上に取り組んだ。

#### (4) N響創立100年に向けたプロジェクト

当団は、4年後の2026年、創立100年を迎える。これまでの伝統を継承しつつ、クラシック音楽の新たな展開と社会貢献を目指して、2021年7月、若手職員によるプロジェクトチーム「100年プロジェクト」を立ち上げた。今後、新しいビジョンの作成などN響の未来を担う若手職員たちによる長期プランを作り上げていく。

## 4. 社会貢献活動

大ホールでのオーケストラ公演とは別に、全国の若い世代に生の演奏に触れてもらうことでファンのすそ野を広げ、将来を担う演奏家を育てる活動に取り組んだ。また、被災地や福祉施設などを訪ね、元気と安らぎを感じてもらおう演奏も行った。交流のイベントは、十分な感染対策をとって行った。

#### (1) NHKこども音楽クラブ

次世代を育てる教育プログラムとしてNHKと共催し、「N響がやってきた」をキャッチフレーズに全国の小中学校を回ってミニコンサートを開いている。15年目となった2021年度は、離島の新潟県佐渡市(11/5)など10か所16校を対象に行った。おなじみのクラシックの名曲の他、校歌やアニメソングの演奏も交え、楽員と子どもたちが交流した。コンサートの模様は、地元の放送局のニュースなどに取り上げられた他、子どもたちの豊かな表情とともにコンパクトに編集され、NHKのホームページで紹介されている。

#### (2) N響といっしょ！音を楽しむ！！

就学前の幼い子どもたちを東京港区のN響の練習所に招き、楽器の音色を楽しんでもらう試みを2021年度から始めた(9/2、3/24)。小編成の楽員たちが楽器のしくみを教えたり、動物の鳴き声などを題材にした曲を演奏したりして子どもたちの興味をひき、保護者の方々と交えてふれあいの時間を過ごした。地元の保育所などの協力のもと豊かな心を育む機会つくとともに地域に貢献する活動として取り組んだ。

### (3) 被災地や高齢者施設での活動

前年（2020年夏）の九州豪雨で大きな被害を受けた大分県九重町と熊本県人吉市の小中学校でミニコンサート（9/28、3/16）を開き、子どもたちと交流した。NHKこども音楽クラブの一環として行い、九重町ではピアニストの小山実稚恵さんを、人吉市ではピアニストの梯剛之さんをそれぞれ特別ゲストに招いた。

また、宮城県出身の小山さんが東日本大震災をきっかけに立ち上げた親子向けの公演イベント「こども夢ひろば」（11/27 仙台市）に楽員たちが参加し協力した。

さらに、横浜市にある民間の高齢者施設でクリスマスコンサート（12/18）を開き、室内楽演奏による美しい音色をお届けした。

※感染拡大のため高齢者施設の訪問は一部を中止し、病院での演奏は見合わせた。

### (4) 公的団体と連携した室内楽演奏、音楽セミナー

広い世代にクラシック音楽に親しんでもらい、楽員と直接ふれあう場として、自治体や公益財団の要請を受けて様々なコンサートを行った。東京都府中市では、生涯学習の取り組みとして楽員による音楽セミナー（5月～8月6回）を開催した。

栃木県足利市では、オーケストラ公演の2日後に地元の小学生や幼稚園児を対象にしたアウトリーチコンサート（10/12）を開催した。東京都港区では、小中学校1校ずつで室内楽演奏（9/21, 11/9）を行うなど各地の教育プログラムに参加した。

### (5) N響アカデミー

日本のオーケストラの若手演奏家の育成を目的に2003年にスタートした。これまでに49人の若手がこのアカデミーから巣立ち、当団を含め日本、海外のオーケストラなどで活躍している。受講生は、楽員から個別指導を受けたり、楽員の指導のもとで演奏会に出演したりして研鑽を積んでいる。

また、2021年度からは新たに「指揮研究員」の枠を設け、育成の間口を広げた。当団と共演する指揮者のアシスタントを務めながら実践的な訓練を行っている。2022年3月末現在、演奏者9人、指揮者2人の計11人が在籍している。

#### ※留学生招待

首都圏で学ぶ外国人留学生を公演に招待することで国際交流に資する活動だが、感染の拡大やそれに伴う客席数の制限などにより中止した。

## 5. 特別支援・賛助会員・寄付

2021年度は、前年度、新型コロナウイルス感染拡大の影響で急激に落ち込んだ会員数を回復させるため職員一人ひとりがご支援のお願いに力を注いだ。その結果、2021年3月末現在、大口の特別支援が4団体と前年度に比べ1減少したが、賛助会員（1口50万円、個人を含む）は、190社（人）、301口で、前年度比18社（人）、26口の増加となり、コロナ前とほぼ同じ水準となった。

しかし、特別支援の減少に加え、先行きの見えないコロナ禍の中での公演運営は、依然として予断をゆるさない状況にある。引き続き、安全で安心な公演継続の努力や社会貢献の取り組みなどをていねいに説明しご支援をお願いしていく。

また、前年度に続き（公社）日本オーケストラ連盟を通じた企業グループからの支援も寄せられた。

## 6. 財務基盤とガバナンスの強化

### （1）感染拡大の中での財政運営

2021年度上半期の財政は、緊急事態宣言の延長が繰り返され、長引く客席の入場制限や外国人出演者の入国制限は、9月の定期公演再開に向けた会員券販売などに大きく響いた。

下半期は、徐々に制限は緩和されたが、新たにオミクロン株の拡大に伴う公演中止や大がかりなPCR検査費の支出など想定外の事態も起きた。不安定な財政運営を強いられる中で、2021年度は公演ごとの収支を逐次点検する管理会計をより徹底し、広報資材や出演経費の節減、IT関連の投資の抑制などを図った。

また、国の雇用調整助成金を活用するとともに前年に大きく落ち込んだ賛助会費の回復にも努めた。その結果、収入が支出を上回り、当初予算で見込んでいた赤字を回避できた。

### （2）財団統合に向けた取り組み

2022年1月、NHKグループの4つの一般財団法人（「NHKサービスセンター」、「NHKインターナショナル」、「NHKエンジニアリングシステム」、「NHK放送研修センター」）と統合に向けた基本合意を交わした。これによって2023年4月には4財団が合併してつくる「NHK財団」（仮称）の子法人となる。統合は、NHK



グループの社会貢献事業を強化するとともに、事務局の業務の高度化、効率化によって経営の基盤を強固にすることが目的である。実現に向けた事業連携やシステム統合の方策などについて関連の団体やNHKと協議を進めた。

### (3) 事務局体制の強化

2021年の人事異動で、役員や事務局職員の担務の変更、技術に精通した技術主幹の配置などを行い、部を越えた業務の一体運用やマネジメント業務の充実を図った。重要性を増している情報セキュリティーについては、これまで各システムごとに担当者が行っていた管理を新設の技術主幹に集約してチェック機能を高めた。

また、サイバー攻撃を想定した事業継続計画（IT-BCP）を新たに作成し、初の訓練を行った。経理については、管理会計を充実させて収支上の問題点を全体で共有することに努めた。内部監査は、NHKによる関連団体調査と並行して外部の内部統制支援サービスを活用し、報告書類の定期的な点検、指導を受けるなどガバナンスの強化に取り組んだ。

## 7. 安心して働ける職場づくり

### (1) 新型コロナウイルス感染拡大の防止

演奏活動については、2020年6月に策定した「新型コロナウイルス感染予防 N響ガイドライン」を状況の変化に応じてその都度改訂し、独自に委嘱した医療アドバイザーの医師・看護師の助言のもと、演奏上の感染防止対策を徹底した。

2021年9月からの定期公演では、外国からの出演者の入国が条件付きで認められたが、行政の指示に基づき、国内待機の期間中、共演する楽員や関係スタッフについても3日ごとのPCR検査を実施するなどきめ細かく対応した。また、オミクロン株が拡大した1月から3月にかけては、公演の度に、出演する楽員から共演者、関係スタッフに至るまで一斉のPCR検査を行い、安全の確保に努めた。

ワクチン接種については、文化庁などが実施する文化芸術関係者向けの職域接種やNHKグループでの職域接種を全職員に勧奨した。

2020年4月から毎週欠かさず全職員に発信している安否確認システムを活用した健康確認メールは、2021年度も継続した。すでに100回を超え、陽性や濃厚接触が疑われるケースの速やかな把握と職員の危機管理意識の醸成に役立てた。

## (2) テレワーク環境整備と情報セキュリティー

コロナ禍における業務の継続や在宅勤務の推進にあたってテレワークの必要性は高まっており、業務用に貸与するPCの増設やリモート打合せのルール化などを行った。2021年度は、理事会や評議員会など対外的な会議もリモート方式で行うなど、部内の打ち合わせも含め活用の頻度は格段に増した。

一方で、テレワークに求められる情報セキュリティーを向上させるため、標的型攻撃メールなど不正アクセスへの対応訓練をNHKと連携して行った他、サイバー攻撃を想定した訓練や勉強会も行い、職員の対応力やリテラシーを高めた。

## (3) 定年年齢の引き上げ

楽員や職員のモチベーションの向上と高齢期の安定した雇用の確保を図るため、現行の定年年齢の60歳を見直し、2022年4月に65歳までの定年引き上げを導入できるよう制度整備を行った。

# 8. 顕彰の実施

## (1) 尾高賞

故・尾高尚忠氏の功績をたたえ、邦人作曲家による優れたオーケストラ作品を顕彰するために1952年に設けた作曲賞。

69回目となる2021年度は、感染拡大の影響で募集を見送った前年分と合わせて審査した。その結果、西村朗氏の《華開世界～オーケストラのための》と岸野末利加氏の《チェロとオーケストラのための What the Thunder Said / 雷神の言葉》が選ばれた。贈呈式と受賞作品の演奏は、2022年7月、東京オペラシティコンサートホールで開催される「Music Tomorrow 2022」で行われる。

## (2) 有馬賞

故・有馬大五郎氏（元・当団副理事長）の偉業を記念して、1981年に設けた。当団の発展に功績のあった関係者、関係団体、職員が授賞の対象。

2021年度は、毎年、広島県福山市で当団の公演を開催し、地域の青少年の育成と音楽芸術の普及に多大な貢献をした公益財団法人渋谷育英会。それに、長く当団と共演を重ね、大河ドラマ6作品やNHKスペシャル「新・映像の世紀」の音楽も指

揮するなど、放送録音にも多大な貢献をした指揮者の下野竜也氏の1団体1個人に授与した。

## 9. 法人の概況

### 1. 設立年月日

1942年4月27日

1926年10月5日 「新交響楽団」(任意団体)設立

1942年4月27日 「財団法人 日本交響楽団」設立

1951年8月1日 「財団法人 NHK交響楽団」に改称

2010年4月1日 「公益財団法人 NHK交響楽団」設立

### 2. 目的

交響管弦楽により、わが国音楽芸術の向上発展を図り、その社会文化使命を達成することを目的とする。

### 3. 事業内容

- (1) 放送演奏
- (2) 公開演奏
- (3) 演奏に必要な研究ならびに施設の運営
- (4) 機関雑誌の発行
- (5) その目的を達成するために必要な事業

### 4. 所管官庁

内閣府

### 5. 会員状況 (2022年3月31日現在)

(1) 定期会員 6,412人

(緊急事態宣言による入場制限のため会員券の販売を途中で停止したプログラムもあった)

(2) 賛助会員 190社(人) 301口(1口50万円)

### 6. 特別支援・協力企業

(1) 特別支援企業

岩谷産業株式会社、三菱地所株式会社、株式会社みずほ銀行、  
公益財団法人渋谷育英会

(2) 特別協力企業

BMWジャパン、全日本空輸株式会社、ヤマハ株式会社、  
株式会社パレスホテル

7. 事務所所在地

事務所・練習場・N響ガイド（入場券販売業務）  
東京都港区高輪 2-16-49

## 10. 処務の概況

### 1. 理事・監事および評議員に関する事項

#### (1) 理事・監事

(2022年3月31日現在)

役 職	氏 名	担当職務・現職
理 事 長	今村 啓一	
常務理事	中野谷 公一	経営管理
常務理事	三溝 敬志	演奏制作・事業広報
理 事	相川 直樹	慶應義塾大学 名誉教授
理 事	内永 ゆか子	NPO 法人 J-Win 理事長
理 事	岡田 知之	洗足学園音楽大学 名誉教授
理 事	木村 恵司	三菱地所 特別顧問
理 事	銭谷 眞美	東京国立博物館 館長
理 事	團 宏明	通信文化協会 参与
理 事	毛利 衛	日本科学未来館 名誉館長、宇宙飛行士
監 事	浜村 和則	公認会計士
監 事	春原 雄策	日本放送協会 関連事業局 専任局長

#### (2) 評議員

(2022年3月31日現在)

役 職	氏 名	現 職
評 議 員	松本 浩司	NHKエンタープライズ 代表取締役社長
評 議 員	江頭 敏明	三井住友海上火災保険 特別顧問
評 議 員	海老澤 敏	国立音楽大学 名誉教授
評 議 員	野口 周一	NHKテクノロジーズ 代表取締役社長
評 議 員	鈴木 賢一	NHK厚生文化事業団 理事長
評 議 員	檀 ふみ	女優
評 議 員	前田 昭雄	上野学園大学 学長
評 議 員	前田 晃伸	日本放送協会 会長
評 議 員	三浦 惺	日本電信電話 特別顧問
評 議 員	土井 成紀	NHK出版 代表取締役社長
評 議 員	渡邊 修	石油資源開発 代表取締役会長

## 2. 理事・監事および評議員の異動に関する事項

区 分	年 月 日	辞任・退任	新 任
常務理事	2021年6月24日	唐木田 信也	三溝 敬志
評議員	2021年6月24日	山口 均	渡邊 修
評議員	2021年6月24日	安齋 尚志	松本 浩司
評議員	2021年6月24日	大橋 一三	野口 周一
評議員	2021年6月24日	森永 公紀	土井 成紀
理事長	2021年7月1日	根本 佳則	今村 啓一
監 事	2021年7月8日	佐藤 良丈	春原 雄策
理 事	2022年1月20日	斉藤 邦彦	—

## 3. 職員に関する事項

(2022年3月31日現在)

職 種	人 数	平均年齢
楽 員	96人	44.8歳
事務職員	22人	46.2歳
嘱託職員	15人	61.5歳
合計または平均	133人	46.6歳

注) 2022年3月31日退職者は含まず。

## 4. 会議に関する事項

### (1) 理事会の開催状況 (書面決議の場合、年月日は決裁日)

区 分	年 月 日	議 題
第61回理事会	2021年6月2日	1. 業務運営状況報告 2. 2020年度事業報告及び収支決算 3. 第35回評議員会の開催
第62回理事会	2021年7月1日	1. 代表理事の選任 2. 常務理事の選任 3. 第36回評議員の開催 4. 監事の選任

第 63 回理事会	2021 年 12 月 24 日	1. 財団統合に関わる基本合意書締結
第 64 回理事会	2022 年 2 月 4 日	1. 第 37 回評議員会の開催
第 65 回理事会	2022 年 3 月 24 日	1. 業務運営状況報告 2. 2022 年度事業計画及び収支予算

(2) 評議員会の開催状況（書面決議の場合、年月日は決裁日）

区 分	年 月 日	議 題
第 35 回評議員会	2021 年 6 月 24 日	1. 2020 年度事業報告及び収支決算 2. 理事の退任・選任 3. 評議員の選任 4. 常勤役員の報酬
第 36 回評議員会	2021 年 7 月 8 日	1. 監事の選任
第 37 回評議員会	2022 年 3 月 24 日	1. 2022 年度事業計画及び収支予算

## 1 1. 理事および監事に支払った報酬の額

当事業年度における当財団の理事および監事に対する報酬の内容は以下の通り。

役員区分	報酬の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額		対象となる 役員数 (人)
		定額部分	変動部分	
理 事	51,487	38,302	13,185	3
監 事	2,520	2,520	0	1

※当事業年度末の人員数は理事 10 名、監事 2 名。うち非常勤理事 7 名、非常勤監事 1 名は無報酬であり、上記人員には含まれていない。

(参考資料)

2021年度 公演概要

公演	年間公演回数	年間入場者	内容
「定期公演」に代わる公演 (4月～6月)	18回	12,205人	サントリー 12回 芸劇 6回
定期公演 (9月～2月)	34回	46,601人	Aプログラム 12回 (芸劇) Bプログラム 10回 (サントリー) Cプログラム 12回 (芸劇)
特別公演	8回	11,666人	Music Tomorrow、松山定期演奏会 N響ほっとコンサート、名曲コンサート、「第九」演奏会4回
地方公演	8回	9,473人	山形、石巻、鳥取、岡山、広島、山口、NHK音楽祭、大阪
放送演奏	5回	—	オリンピック賛歌録音、クラシック音楽館 PV 撮影、「大河ドラマ」テーマ曲録音、NHKウィンタースポーツテーマソング録音、放送記念日
契約公演	27回	—	伊那、厚木、豊田、オーチャード定期4回、沼津、練馬、安城、福井、大阪、千葉、葛飾、足利、埼玉、所沢、NTT東日本、厚木、名古屋、越谷、国際音楽祭NIPPON、都民芸術フェスティバル、長岡、静岡、姫路、岩国



2021年度 演奏活動実績

◆「定期公演」に代わる公演

4月	<p>4/10, 11 サントリーホール            指揮：三ツ橋敬子            S. 森谷真理、T. 福井 敬            モーツァルト：歌劇「魔笛」から                序曲                「なんと美しい絵姿」                「愛の喜びは露と消え」            モーツァルト：歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」から二重唱「夫の腕の中に」            モーツァルト：歌劇「イドメネオ」から                バレエ音楽「パ・スル」                「海の外なる胸の内の海は」                「ああ私の切望、怒り」～「血を分けたオレステよ」            ヴェルディ：歌劇「シチリア島の夕べの祈り」からバレエ音楽「春」            マスネ：歌劇「ウェルテル」からオシアン之歌「春風よ、なぜ私を目ざますのか」            マスネ：歌劇「タイス」から                鏡の歌「私を美しいと言っておくれ」                タイスの冥想曲            プッチーニ：歌劇「蝶々夫人」から 愛の二重唱「夕暮れは迫り」</p>
	<p>4/16, 17 東京芸術劇場            指揮：鈴木雅明            Ob. 吉井瑞穂            ハイドン：交響曲 第95番 ハ短調            モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調 K. 314            シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調 作品38「春」</p>
	<p>4/21, 22 サントリーホール            指揮：大植英次            Pf. 阪田知樹            グリーク：2つの悲しい旋律 作品34            ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲 第1番 ハ短調 作品35            シベリウス：交響曲 第2番 ニ長調 作品43</p>
5月	<p>5/15, 16 サントリーホール            指揮：尾高忠明            ハイドン：チェロ協奏曲 第2番 ニ長調 作品101 (Vc. 辻本 玲)            モーツァルト：4つの管楽器と管弦楽のための協奏交響曲 変ホ長調 K. 297b                (Ob. 吉村結実、Cl. 伊藤 圭、Fg. 水谷上総、Hr. 福川伸陽)            ドビュッシー：神聖な舞曲と世俗的な舞曲 (Hp. 早川りさこ)            パヌフニク：交響曲 第3番「神聖な交響曲」                (Trp. 菊本和昭、長谷川智之、安藤友樹、山本英司)</p> <p>5/21, 22 東京芸術劇場            指揮：原田慶太楼            バンドネオン：三浦一馬            グアルニエーリ：弦楽器と打楽器のための協奏曲            ピアソラ：バンドネオン協奏曲「アコンカグア」            ヒナステラ：協奏的変奏曲 作品23            ファリャ：バレエ組曲「三角帽子」第1番</p>

	<p>5/26, 27 サントリーホール          指揮：広上淳一          Vn. 白井 圭          チャイコフスキー（マカリスト編）：弦楽四重奏曲 第1番 作品11              —第2楽章「アンダンテ・カンタービレ」（弦楽合奏版）          サン・サーンス：ヴァイオリン協奏曲 第3番 ロ短調 作品61          尾高惇忠：交響曲 ～時の彼方へ～</p>
6月	<p>6/5, 6 サントリーホール          指揮：井上道義          シベリウス：交響曲 第7番 ハ長調 作品105          ベートーヴェン：交響曲 第3番 変ホ長調 作品55「英雄」</p>
	<p>6/11, 12 東京芸術劇場          指揮：下野竜也          フィンジ：前奏曲 作品25          ブリテン：シンフォニア・ダ・レクイエム 作品20          ブルックナー：交響曲 第0番 ニ短調</p>
	<p>6/16, 17 サントリーホール          指揮：パーヴォ・ヤルヴィ          Vn. 青木尚佳          ペルト：スンマ（弦楽合奏版）          シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47          ニルセン：交響曲 第4番 作品29「不滅」</p>

◆定期公演（A, C：東京芸術劇場、B：サントリーホール）

9月	A	<p>第1938回 9/25, 26          指揮：沼尻竜典          Cl. 伊藤 圭          モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調 K.622          マーラー：交響曲 第1番 ニ長調「巨人」</p>
	B	<p>第1937回 9/15, 16          指揮：鈴木秀美          バッハ：組曲第3番 ニ長調 BWV1068          C.P.E. バッハ：シンフォニア 変ロ長調          C.P.E. バッハ：シンフォニア ニ長調          ハイドン：交響曲 第98番 変ロ長調</p>
	C	<p>第1936回 9/10, 11          指揮：パーヴォ・ヤルヴィ          バルトーク：組曲「中国の不思議な役人」          バルトーク：管弦楽のための協奏曲</p>
10月	A	<p>第1939回 10/16, 17          指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット          Vn. レオニダス・カヴァコス          ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品77          ニルセン：交響曲 第5番 作品50</p>

	B	第 1941 回 10/27, 28 指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット ステンハンマル:セレナーデ ヘ長調 作品 31 ベートーヴェン:交響曲 第 5 番 ハ短調 作品 67
	C	第 1940 回 10/22, 23 指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット グリーグ:「ペール・ギュント」組曲第 1 番 作品 46 ドヴォルザーク:交響曲 第 8 番 ト長調 作品 88
11 月	A	第 1942 回 11/13, 14 指揮：沼尻竜典 Pf. アレッサンドロ・タヴェルナ ウェーバー:歌劇「魔弾の射手」序曲 リスト:ピアノ協奏曲 第 2 番 イ長調 フランツ・シュミット:交響曲 第 2 番 変ホ長調
	B	第 1944 回 11/24, 25 指揮：ファビオ・ルイージ Vn. フランチェスカ・デゴ パガニーニ:ヴァイオリン協奏曲 第 1 番 ニ長調 作品 6 チャイコフスキー:交響曲 第 5 番 ホ短調 作品 64
	C	第 1943 回 11/18, 19 指揮：ファビオ・ルイージ ブルックナー:交響曲 第 4 番 変ホ長調
12 月	A	第 1945 回 12/4, 5 指揮：ガエタノ・デスピノーサ Pf. 小林海都 ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲 作品 56a バルトーク:ピアノ協奏曲 第 3 番 シェーンベルク:清められた夜 作品 4
	B	第 1947 回 12/15, 16 指揮：山田和樹 S. 佐々木典子 マーラー:花の章 R. シュトラウス:4つの最後の歌 ベートーヴェン:交響曲 第 3 番 変ホ長調 作品 55「英雄」
	C	第 1946 回 12/10, 11 指揮：ガエタノ・デスピノーサ Vc. 佐藤晴真 チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲 作品 33 ムソルグスキー(ラヴェル編):組曲「展覧会の絵」
1 月	A	第 1948 回 1/15, 16 指揮：原田慶太楼 Pf. 反田恭平 ショパン(グラズノフ編):軍隊ポロネーズ イ長調 作品 40-1 (管弦楽版) ショパン(ストラヴィンスキー編):夜想曲 変イ長調 作品 32-2 (管弦楽版) パデレフスキ:ポーランド幻想曲 作品 19 ストラヴィンスキー:バレエ音楽「火の鳥」(1910年版)

	B	第 1950 回 1/26, 27 指揮：ジョン・アクセルロッド Pf. 吉川隆弘 ハチャトウリヤン：組曲「仮面舞踏会」－「ワルツ」 プロコフィエフ：ピアノ協奏曲 第 3 番 ハ長調 作品 26 プロコフィエフ：交響曲 第 5 番 変ロ長調 作品 100	*公演中止
	C	第 1949 回 1/21, 22 指揮：ジョン・アクセルロッド Vn. 服部百音 ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第 1 番 ト短調 作品 26 ブラームス：交響曲 第 3 番 ヘ長調 作品 90	
2 月	A	第 1951 回 2/5, 6 指揮：下野竜也 Pf. 小林愛実 シューマン：序曲、スケルツォとフィナーレ 作品 52 - 「序曲」 シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 作品 54 シューマン：交響曲 第 2 番 ハ長調 作品 61	
	B	第 1953 回 2/16, 17 指揮：尾高忠明 Vn. 金川真弓 ブリテン：歌劇「ピーター・グライムズ」－ 4 つの海の間奏曲 作品 33a バーバー：ヴァイオリン協奏曲 作品 14 エルガー：変奏曲「謎」作品 36	
	C	第 1952 回 2/11, 12 指揮：鈴木雅明 ストラヴィンスキー：組曲「プルチネッラ」 ストラヴィンスキー：バレエ音楽「ペトルーシカ」 (1947 年版)	

◆特別公演

6 月	Music Tomorrow 2021 <6/22> 東京オペラシティ 指揮：杉山洋一 Pf. 吉川隆弘 西村朗：華開世界～オーケストラのための(2020) (N響委嘱作品/世界初演) 間宮芳生：ピアノ協奏曲 第 2 番(1970) (第 19 回尾高賞受賞作品) 細川俊夫：オーケストラのための「渦」(2019) (第 68 回尾高賞受賞作品)
7 月	松山定期演奏会 <7/25> 愛媛県県民文化会館 指揮：沖澤のどか Vc. 宮田 大 ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 作品 104 ブラームス：交響曲 第 2 番 ニ長調 作品 73

8月	<p>ほっとコンサート &lt;8/1&gt; 東京芸術劇場  指揮：原田慶太楼  ナビゲーター：篠原ともえ  オフエンバック：喜歌劇「天国と地獄」序曲 — “カンカン”  アンダソン：フィドル・ファドル  サン・サーンス（挟間美帆編）：組曲「動物の謝肉祭」 — “かめ”  ヨハン・シュトラウス II 世：常動曲  チャイコフスキー：組曲「くるみ割り人形」 — “トレパーク”  外山雄三：管弦楽のためのラプソディ — “八木節”  ヴォーン・ウィリアムズ：チューバ協奏曲—第3楽章（Tuba 池田幸広）  リーバーマン：ピッコロ協奏曲—第3楽章（Picc. 梶川真歩）  サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン（Vn. 篠崎史紀、降旗貴雄、三又治彦、丹羽洋輔）  ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」 — “カッチェイ王の魔の踊り”  NiziU（山下康介編）：Make you happy  ムソルグスキー（ラヴェル編）：組曲「展覧会の絵」  — “バーバ・ヤガーの小屋” “キエフの大きな門”</p>
9月	<p>明電舎 presents N響名曲コンサート 2021 &lt;9/6&gt; サントリーホール  指揮：パーヴォ・ヤルヴィ  Vn. 服部百音  エネスコ：ルーマニア狂詩曲第2番 ニ長調 作品11-2  チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35  サン・サーンス：交響曲 第3番 ハ短調 作品78（オルガンつき）</p>
12月	<p>「第9」演奏会 &lt;12/22&gt; オーチャードホール、&lt;12/25, 26&gt; 東京芸術劇場  指揮：尾高忠明  S. 森 麻季、 Ms. 加納悦子、  T. 櫻田 亮、 Br. 大西宇宙&lt;22&gt;、三原 剛&lt;25, 26&gt;  ベートーヴェン：交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱つき」  合唱：東京オペラシンガーズ</p>
	<p>かんぽ生命 presents N響第九 Special Concert &lt;12/27&gt; サントリーホール  指揮：尾高忠明  S. 森 麻季、 Ms. 加納悦子、  T. 櫻田 亮、 Br. 大西宇宙  オルガン：勝山雅世*  ブクステフーデ：コラール前奏曲「輝く暁の星の麗しさよ」*  バッハ：トッカータとフーガ ニ短調 BWV565*  ベートーヴェン：交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱つき」  合唱：東京オペラシンガーズ</p>

◆地方公演

8月	<p>山形公演 &lt;8/19&gt; やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）  石巻公演 &lt;8/20&gt; マルホンまきあーとテラス（石巻市複合文化施設）  指揮：尾高忠明  Vn. 金川真弓  ベートーヴェン：バレエ音楽「プロメテウスの創造物」序曲  ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品26  ブラームス：交響曲 第1番 ハ短調 作品68</p>
----	--

	鳥取公演 <8/28> とりぎん文化会館（鳥取県民文化会館） 岡山公演 <8/29> 岡山シンフォニーホール 広島公演 <8/30> 上野学園ホール（広島県立文化芸術ホール） 山口公演 <8/31> 山口市民会館 指揮：広上淳一 Pf. 藤田真央 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23 チャイコフスキー：交響曲 第4番 へ短調 作品36
11月	NHK音楽祭 <11/8> オーチャードホール 指揮：尾高忠明 Pf. ブルース・リウ ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11 ショスタコーヴィチ：交響曲 第5番 ニ短調 作品47
	大阪公演 <11/27> NHK大阪ホール 11月B定期と同プログラム

#### ◆放送演奏

5月	録音 <5/6> オリンピック賛歌
	収録 <5/7> クラシック音楽館 PV 撮影
9月	録音 <9/29> 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」テーマ曲
11月	録音 <11/4> NHKウィンタースポーツテーマソング「Fly High」
3月	放送記念日 <3/18> 記念演奏 モーツァルト：ディヴェルティメント ニ長調 K.136

#### ◆契約公演

5月	伊那公演 <5/30> 長野県伊那文化会館 指揮：秋山和慶 Pf. 小山実稚恵 チャイコフスキー：「エフゲーニ・オネーギン」からポロネーズ チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23 ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 作品95「新世界から」
6月	厚木公演 <6/26> 厚木市文化会館 指揮：沼尻竜典 Pf. 上原彩子 モーツァルト：ディヴェルティメント ニ長調 K.136 モーツァルト：ピアノ協奏曲 第20番 ニ短調 K.466 モーツァルト：交響曲 第41番 ハ長調 K.551「ジュピター」

	<p>豊田公演 &lt;6/27&gt; 豊田市コンサートホール 厚木公演&lt;6/26&gt;と同プログラム</p>
7月	<p>オーチャード定期 &lt;7/3&gt; オーチャードホール 指揮：角田鋼亮 Vc. 横坂 源 エルガー：チェロ協奏曲 ホ短調 作品 85 チャイコフスキー：交響曲 第4番 ヘ短調 作品 36</p>
	<p>沼津東高等学校創立 120 周年 &lt;7/4&gt; 沼津市民文化センター オーチャード定期&lt;7/3&gt;と同プログラム</p>
	<p>練馬公演 &lt;7/7&gt; 練馬文化センター 指揮：沼尻竜典 Vn. 大谷康子 ベートーヴェン：「プロメテウスの創造物」序曲 ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品 26 ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲 ジェリー・ボック（ジョン・ウィリアムズ編）：「屋根の上のヴァイオリン弾き」から ヨーゼフ・シュトラウス：ワルツ「天体の音楽」作品 235 ヨハン・シュトラウス II 世：ポルカ・フランセーズ「宵の明星」作品 249 ヨハン・シュトラウス II 世：ポルカ・シュネル「暁の明星」作品 266 ヨハン・シュトラウス II 世：ワルツ「美しく青きドナウ」作品 314</p>
	<p>アイシン・エイ・ダブリュ公演 &lt;7/10&gt; アイシン・エイ・ダブリュ・ハーモニーホール 指揮：熊倉 優 Vn. 辻 彩奈 メンデルスゾーン：序曲「フィンガルの洞窟」作品 26 メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品 64 ドヴォルザーク：交響曲 第8番 ト長調 作品 88</p>
	<p>福井公演 &lt;7/11&gt; ハーモニーホールふくい アイシン・エイ・ダブリュ公演&lt;7/10&gt;と同プログラム</p>
	<p>N響「夏」大阪 2021 &lt;7/17&gt; ザ・シンフォニーホール 指揮：下野竜也 Pf. 仲道郁代 ロッシーニ：歌劇「セビリアの理髪師」序曲 モーツァルト：ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K. 488 ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 作品 95「新世界から」</p>
9月	<p>千葉公演 &lt;9/20&gt; 千葉県文化会館 指揮：広上淳一 Pf. 小山実稚恵 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第3番 ニ短調 作品 30 ボロディン：交響詩「中央アジアの草原で」 ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」（1919年版）</p>
10月	<p>オーチャード定期 &lt;10/2&gt; オーチャードホール 指揮：井上道義 Hr. 福川伸陽 ショスタコーヴィチ：ロシアとキルギス民謡の主題による序曲 作品 115 グリエール：ホルン協奏曲 変ロ長調 作品 91 リムスキー・コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」作品 35</p>

	<p>かつしか公演 &lt;10/9&gt; かつしかシンフォニーヒルズ  指揮：川瀬賢太郎  Vc. 佐藤晴真  ベートーヴェン：エグモント序曲  チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 作品 33 (原典版)  チャイコフスキー：弦楽四重奏曲 第1番 作品 11  —第2楽章「アンダンテ・カンタービレ」 (独奏チェロと弦楽合奏版)  ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 作品 92</p>
	<p>足利定期 &lt;10/10&gt; 足利市民プラザ  かつしか公演&lt;10/9&gt;と同プログラム</p>
	<p>埼玉公演 &lt;10/11&gt; 埼玉会館  かつしか公演&lt;10/9&gt;と同プログラム</p>
	<p>所沢公演 &lt;10/30&gt; 所沢市民文化センター  10月B定期と同プログラム</p>
11月	<p>NTT東日本公演 &lt;11/2&gt; 東京オペラシティ  指揮：尾高忠明  Pf. 清水和音  ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品 18  チャイコフスキー：交響曲 第6番 ロ短調 作品 74「悲愴」</p>
	<p>厚木公演 &lt;11/3&gt; 厚木市文化会館  NTT東日本公演&lt;11/2&gt;と同プログラム</p>
	<p>名古屋公演 &lt;11/28&gt; 愛知県芸術劇場  11月B定期と同プログラム</p>
1月	<p>オーチャード定期 &lt;1/8&gt; オーチャードホール  指揮：ジョン・アクセルロッド  S. 森 麻季  ヨハン・シュトラウス II世：ワルツ「皇帝円舞曲」作品 437  ヨハン・シュトラウス II世：ポルカ「雷鳴と電光」作品 324  ヨハン・シュトラウス II世：トリッチ・トラッチ・ポルカ 作品 214  ヨハン・シュトラウス II世：ワルツ「美しく青きドナウ」作品 314  マーラー：交響曲 第4番 ト長調</p>
	<p>越谷公演 &lt;1/10&gt; サンシティ越谷市民ホール  オーチャード定期&lt;1/8&gt;と同プログラム</p>
2月	<p>国際音楽祭 NIPPON 2022 &lt;2/21&gt; 東京オペラシティ  指揮：尾高忠明  Vn. 諏訪内晶子  シベリウス：「ペレアスとメリザンド」組曲 作品 46  デュティユー：ヴァイオリンと管弦楽のための夜想曲「同じ和音の上で」  ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 77</p>
	<p>都民芸術フェスティバル &lt;2/24&gt; 東京芸術劇場  指揮：高関 健  Vn. 南 紫音  チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 35  ブラームス：交響曲 第1番 ハ短調 作品 68</p>



	<p>長岡公演 &lt;2/26&gt; 長岡市立劇場          都民芸術フェスティバル&lt;2/24&gt;と同プログラム</p>
3月	<p>静岡公演 &lt;3/6&gt; 静岡グランシップ          指揮：野平一郎          ビゼー：「アルルの女」組曲 第2番          ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲          ラヴェル：ラ・ヴァルス          野平一郎：静岡トリロジーⅢ [公益財団法人静岡県文化財団委嘱作品・新作初演]          合唱：静岡児童合唱団・青葉会スペリオル</p>
	<p>オーチャード定期 &lt;3/12&gt; オーチャードホール          指揮：原田慶太楼          Pf. 小曾根 真          バーンスタイン：「キャンディード」序曲          バーンスタイン（メーソン編）：「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクション          ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー          ロジャース&amp;ハマースタイン II（ベネット編）：サウンド・オブ・ミュージック          ガーシュウィン（ベネット編）：「ポーギーとベス」交響的絵画</p>
	<p>姫路公演 &lt;3/13&gt; アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）          オーチャード定期&lt;3/12&gt;と同プログラム</p>
	<p>岩国公演 &lt;3/14&gt; シンフォニア岩国          オーチャード定期&lt;3/12&gt;と同プログラム</p>